

再始動 CUIC はプロシージャ データサービス住んでいます

目次

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ライブ データサービス 再始動手順](#)

概要

この資料は CUIC ルートまたは CUIC Command Line Interface (CLI) からの Cisco Unified Intellignet センター (CUIC) ライブ データサービスを再開するために推薦されるステップを記述したものです。

ライブ データサービスは特定の順序で再開する必要があります従ってそのデータおよびステータス依存は、クリーンアップされます。

CUIC 11.0

ライブ データ サーバ 11.0

要件

この資料にリストされているシナリオ、現象およびステップは completintg 頭文字設定の後で問題を解決するために書かれていました。 初期構成に関しては、資料の下で参照して下さい:

[データ インストールは住んでいます](#)

使用するコンポーネント

この資料に記載されている情報は CUIC 11.0 およびライブ データ サーバ 11.0 に基づいています。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。 このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。 ネットワークがライブである場合、コマンドの実行の潜在的影響を理解するようにして下さい。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

データサービス 再始動手順は住んでいます

CUIC ライブ データサービスを再開する 3 つの方法があります。

1. CUIC ルートからの SH スクリプトによる再始動ライブ データサービス

`/opt/cisco/livedata/bin/reset_tempesta.sh`

このスクリプトは停止し、特定の順序でライブ データサービスを開始したり、また残り動物園の飼育係および嵐状態データ クリアします。

2. CUIC ルートからリセット スクリプトを実行して下さい

`/opt/cisco/livedata/bin/control_services.sh`

このスクリプトは 1 つの引数を奪取します (開始するか停止)。引数によって意味されるように、サービスを停止し、次にサービスを開始して下さい。

`control_services.sh` 停止は特定の順序ですべてにライブ データサービスを停止します

`control_services.sh` 開始するは特定の順序ですべてにライブ データサービスを開始します

3. 停止すれば開始するライブ データサービスは以下の順で utils サービス停止の実行によってする必要があり、utils は CUIC admin CLI から start コマンドを保守します:

次の順序でサービスの下で停止して下さい

CCE はサービス データ嵐 DRPC 住んでいます
CCE はサービス データ嵐スーパーバイザ住んでいます
CCE はサービス データ嵐 Nimbus 住んでいます
CCE はサービス データ ActiveMQ 住んでいます
CCE はサービス データ Cassandra 住んでいます
CCE はサービス データ動物園の飼育係住んでいます
CCE は Web サービス データ住んでいます

次の順序でサービスの下で開始して下さい

CCE はサービス データ動物園の飼育係住んでいます
CCE はサービス データ Cassandra 住んでいます
CCE はサービス データ ActiveMQ 住んでいます
CCE はサービス データ嵐 Nimbus 住んでいます
CCE はサービス データ嵐スーパーバイザ住んでいます
CCE はサービス データ嵐 DRPC 住んでいます
CCE は Web サービス データ住んでいます